

(リスクアセスメント) 遮音板・遮音壁取替工 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	4tユニット、高所作業車、2tトラック 連絡車	帯、吊り金具 インパクト 墜落制止用器具	ヘルメット、耐切創用手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク、しらすんだー受信機 風速計、	遮音板、遮音壁、固定金具
改訂日	令和7年4月24日				
作成者	上野				
必要資格等	・運転免許(普通、準中型、中型、大型)・高所作業車(技能講習)・石綿作業主任者			作業人員	5名
備考				その他	高所作業車・移動式クレーン計画書に基づき作業を行う。

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が			対策後			参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
<b>準備工</b>		<b>作業前ミーティング</b>												
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2			
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1			
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーの音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1			
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が現場にて稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1			
	5	遮音板取替対象のアスベスト含有調査の実施	肺がん、じん肺の危険がある	2	2	4	パネル刻印から製造年、メーカー、含有有無を確認する	職長・作業員	1	1	1			
	6	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1			
	7	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2			
	8	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2			
	9	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2			
	10	資格証の確認を行う	有資格者の確認、資格証携帯の有無を確認	2	2	4	複数人で資格証を確認する	全員	1	2	2			
<b>移動</b>		<b>現場への移動</b>												
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2			
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1			
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1			
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2			
	5	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	2	2	4	車両移動は周囲の安全を十分に確認する	運転手	1	2	2			
<b>本作業</b>		<b>既設遮音板の撤去</b>												
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2			
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1			
	3	取り替える遮音板をマーキングする	一般通行帯に背を向けて作業を行う	2	2	4	万が一の場合の退避場所、方向の確認	作業員	1	2	2			
	4	落下防止ワイヤーを一時撤去する	資機材を側道へ落下させる	2	2	4	上空監視員の配置、必要に応じて側道の規制を行う	作業員	1	2	2			
	5	既設遮音板を撤去する	劣化部があり、部材の一部が側道へ飛散する	2	2	4	上空監視員の配置、必要に応じて側道の規制を行う	全員	2	1	2			
			遮音板の間に手を挟む	2	2	4	道具やバタ角などを使う。むやみに手を入れない							
	6	帯、ワイヤー等を使い遮音板・遮音壁を撤去する	帯、ワイヤーが切れる	2	2	4	事前に点検を行い、問題ないものを使用する	全員	1	2	2			
			遮音板が大きく傾く	2	2	4	介錯ロープを使用する	全員	1	2	2			
	7	新規遮音板を設置する	遮音板が落下する	2	3	6	吊り荷の下へは絶対にはいらない	全員	1	2	2			
<b>片付け</b>		<b>片付け</b>												
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護眼鏡等を使用する	作業員	1	1	1			
	2	後かたづけ	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2			
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2			
	3	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2			
		〃	〃	2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2			



- 【セーフティーバイブル】**
- ・全体編【WH-27】墜落制止用器具
  - ・作業編【WO-01】敷板(ジャッキベースの格納)
  - ・作業編【WO-02】敷板の使用
  - ・作業編【WO-03】車両本体の設置方向
  - ・作業編【WO-04】前後輪留め設置
  - ・作業編【WO-05】挟まれ防止対策
  - ・作業編【WO-06】風速計
  - ・作業編【WO-08】工具落下防止
  - ・作業編【WO-09】上空監視員の配置